

第51回「議員と語ろかい」報告書

文教厚生常任委員会（No. 1）

開催日	令和 8 年 5 月13日（水曜日）14時00分～15時30分		
開催場所	霧島市役所 議会棟 3 階 全員協議会室		
団体名	鹿児島県生活協同組合連合会	参加人員	13人 (男 3 人 : 女 10人)
出席議員	久木田大和、塩井川公子、田中紗弥佳、渡邊理慧、立和田広司、渡邊圭章、植山太介、竹下智行、川窪幸治		
役割分担	班 長（久木田大和）副班長（塩井川公子）記録係（立和田広司）		
テーマ及び具体的な内容	介護保険制度への住民要望について		

意見交換での主な話題等	2025年度は2027年に行われる介護保険法の改定に向けて生協組合員の意見を反映させることを目的とし生協1,000人アンケートを実施。 ・調査では「介護不安」と「経済的困窮」の声が多く聞かれたとのこと。 ・アンケートでは以下の内容が多く示されていた。 ① 老後生活への強い不安 ② 経済的困窮の深刻化 ③ 最大の懸念は家族への負担 ④ 制度への低い満足度 ⑤ 保険料の重圧 ⑥ 制度の持続性への疑念 ◆は参加者の発言 ◇は議員の発言 ◇訪問介護がどのような状況か。 ◆訪問介護はどうにか成り立っている状況。 一番の問題は人員体制の問題になっている。働く人が増えれば、もっと利用者の所にもお伺いでき、事業も伸びていくのだが、働く人が高齢になっている状況。若い人たちが介護協会になかなか入っていただけないところが大きな課題になっている。 ◇外国人の人材を求めている事業所も増えてきていますが、どのような状況か。 ◆訪問介護が中心のため、働きづらい状況ではある。福岡あたりでは少しずつ働いていただく流れもあるようだ。 ◇ケアマネジャーの状況はどうか。 ◆ケアマネジャーになりたい人が年々減ってきている。業務負担や責任の大きさ、処遇的なものを含めて成り手不足になっている。
-------------	--

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇いただいた資料の要望に手続きの簡素化と情報の透明化については、どのような思いか。

◆認定に時間がかかるので、早く認定を出して看護や介護、往診などを早く出来るような状況にするためにも認定が少しでも短くなった方がいいのではないかなという風に考える。

◇居住地による地域格差で、空白地域を作らないように市の財源を使って仕組みを作るべきだという捉え方で良いか。

◆往復で2時間かかる所などは、申し訳ないが訪問介護をお断りしていることも多くなっている。市が負担していただけたら少しでも受けられる方がいるのかなと考えた所だ。

◇健康寿命を延ばす取組はされているか。

◆グランドゴルフをされている方達に健康チェックをさせていただいている。ミニ運動会やサロンなども行っている。

意見交換での主な話題等